

近畿中国森林管理局

箕面森林環境保全ふれあいセンター・こだま通信

箕面森林環境保全ふれあいセンターでは、主に京都、大阪の都市周辺の国有林野をフィールドとして、NPO、ボランティア、地域住民等による自主的な森林づくり、里山の整備、自然再生活動、森林環境教育などへの技術指導等の支援に取り組んでいます。

平成17年度第2回里山再生推進モデル事業検討委員会を開催 ～整備が進む都市型里山モデル林「箕面ながたにの森」～

11月24日(木)、第2回検討委員会(座長:兵庫県立大学 服部保教授)を「箕面ながたにの森(箕面国有林)」で開催しました。

検討委員会では、第1回委員会(5月開催)で設置した各作業部会からの経過報告の後、今年度実施したモニタリング調査の結果を踏まえて、現地を確認しながら、今後必要な整備についての検討を行い、里山モデル林内の歩道作設、枯損木の伐採、シカ防護柵の設置などについて、引き続き、森林ボランティアの協力を得ながら実施することとしました。



平成17年度第2回カワウワーキンググループ会合の開催



11月29日(火)、平成17年度第2回カワウワーキンググループ会合を、近畿農政局会議室(京都市)において開催し、伊崎国有林(滋賀県近江八幡市)における今年度の森林影響調査の経過報告や森林の取扱いのイメージ等についての検討を行いました。

調査内容やまとめ方、カワウ対策の目標等について、有識者委員からの意見があったほか、今回の会合にオブザーバー参加した滋賀県自然環境保全課、水産課より、伊崎国有林における銃器捕獲の実施状況報告や、国有林のカワウ対策についての意見が出されるなど、活発な意見交換の場となりました。

中部近畿カワウ広域協議会準備会(第3回)の開催

11月9日(水)、中部近畿カワウ広域協議会の準備会(環境省主催)が滋賀県大津市で開催され、当センターも参画しました。

本準備会は、増加したカワウによる森林被害や漁業被害が拡大する中、中部近畿地域において、広域的にカワウ対策に取り組むこととなる協議会の設置を進めるもので、協議会の構成員を定める会則や、広域でのカワウ対策方針となる広域保護管理指針の案が事務局より示され、各府県や関係行政機関により、踏み込んだ意見交換が行われました。



近畿中国森林管理局 箕面森林環境保全ふれあいセンター

TEL:075-414-9049/FAX:075-414-9029

URL:<http://www.kinki.kokuyurin.go.jp>

〒603-8054 京都市上京区西洞院通り下長者町下ル 京都農林水産総合庁舎1F



国民の森林・国有林